

市内で起きた主な災害（平成17〈2005〉年以降）

2005 ■平成17(2005)年9月 大雨
市内全域で浸水被害、井の頭地区において土砂崩れが発生。
床上浸水：122件 床下浸水：64件
地下浸水：57件 土砂崩れ：1件



井の頭地区の土砂崩れ

2010 ■平成22(2010)年3月 強風

■平成23(2011)年3月 東日本大震災

■平成23(2011)年9月 台風15号



野崎で発生した倒木

■平成26(2014)年6月 雹^{ひょう}による被害
6月24日午後、三鷹市と調布市周辺の地域に大量の雹が降った。これにより、市内の農作物が大きな被害を受けた。



中原の路上に積もった雹

■平成26(2014)年8月 台風11号
大雨により天文台通り（国立天文台～大沢グラウンド通り方面）が冠水（水深20cm）。

2015

■令和元(2019)年10月 台風19号
大沢地区に市内で初めて避難勧告を発令。避難所（七中・大沢台小）および自主避難所（各コミュニティセンター）に計595人が避難。
床下浸水：3件 地下浸水：1件



七中に開設された避難所

2020

■令和3(2021)年8月 大雨
大沢地区に土砂災害警戒情報を発表。野川は約1時間にわたり氾濫危険水位（2.14m）を超過し、最大水位は2.33mを記録した。



増水した野川

■令和4(2022)年8月 井の頭地区建物火災

■令和6(2024)年7月 大雨
野川が増水し、調節池である大沢野川グラウンドに水が流入。
※同グラウンドは、野川大沢調節池（治水施設）として、大雨のときには野川の氾濫防止のため、河川からの水を一時貯留する機能があります。



水がたまった大沢野川グラウンド

■令和6(2024)年8月 台風7号
大沢地区に高齢者等避難を発令。避難所（七中・大沢台小）に計21人が避難。
地下浸水：1件



七中避難所に設置されたパーテーション

■令和6(2024)年8月 台風10号
大沢・井の頭・牟礼地区に避難指示を発令。避難所（七中・大沢台小・井の頭コミュニティセンター）に計11人が避難。

2025

■令和8(2026)年6月 台風7・8号
『風水害時における野川周辺の防災対策方針』に基づき、大沢地区に自主避難所（大沢原地区公会堂、市営大沢住宅集会所）を開設。

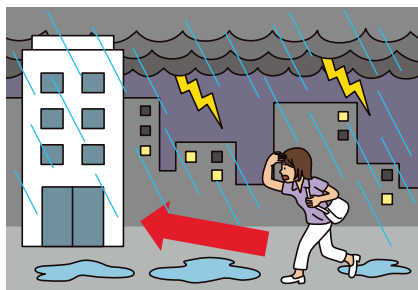


市営大沢住宅集会所の自主避難所

どうすればいいの？ 風水害への備えと対策

💧集中豪雨に遭遇したらどうする？

積乱雲の発達により、集中豪雨や突風、雷、雹などの激しい気象現象が発生することがあります。屋外にいる場合はすぐに安全な建物へ避難し、窓から離れた場所で待機してください。



💧集中豪雨のときに近付いてはいけない場所は？

河川付近

水位が急増し、流れも速くなります。様子を見に行くなどの行為は大変危険です。



アンダーパス（周囲より低い道路）

車が水没して動かなくなる恐れがあります。無理に通らず迂回（うかい）しましょう。



💧日ごろからの備え、何をすればいい？

雨水ますや側溝の上に物を置かない・ごみを入れない
小まめに清掃して、落ち葉などを取り除いておく



ローリングストック[※]で、食品・日用品を備蓄しておく
※普段使っているものを多めに買って、古いものから使っていくこと。

自宅付近の危険度をハザードマップで確認し、避難方法・経路を決めておく



※同マップは、防災課（元気創造プラザ5階）や市民課（市役所1階）、市政窓口などで配布しているほか、市HPでもご確認いただけます。

